

予算特別委員会 審査概要

平成26年度各会計予算は2月20日の本会議招集日に上程され、議会は8人の委員をもって構成する予算特別委員会（委員長・小川克美）を設置しこれに付託し、3月11・12・13日の3日間慎重に審査を行いました。審査の結果、一般会計予算については、2人の委員から「編成替えを求める動議」が提出されましたが、採決の結果賛成少数で否決され、原案のとおり可決されました。また、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・公共下水道・駐車場事業の各特別会計予算については、いずれも原案のとおり可決されました。

主な質疑は以下のとおりです。

- 予算特別委員会委員(8人)**
- 委員長 小川 克美
 - 副委員長 宮坂 良子
 - 委員 谷田部 一之
 - 委員 吉野 芳子
 - 委員 太田 久美子
 - 委員 石川 和広
 - 委員 亀井 和美
 - 委員 鈴木 えつお

一般会計の審査から

〔総括質疑〕

- ・市長公約の進捗状況、今年度予算にどのように反映されているか。
- ・保育園と第五小学校給食の民営化は財政にどのように影響してくるか。
- ・今年度新設された虹のひかり保育園、ぎんきよう保育園の来年度の入所状況は。
- ・和泉多摩川緑地への都立公園誘致の進捗状況は。
- ・所信表明で臨財債の発行抑制が公債費の減少に大きく寄与しているかのように述べていることについて。

- ・道路の修繕計画と東京都の水道管耐震工事、狛江市の下水道管の改修工事との関係。
- ・日本一安全な都市を目指すに当たり具体的な目標と取り組み。
- ・「狛江市中期財政計画―財政規律ガイドライン」と照らし、財政規律が守られているか。
- ・防災に関する情報集約と情報発信の強化についてどのような取り組みが行われるのか。
- ・「いつまでも健康でいられるまち」を目指した市長の考えは。
- ・26年度の狛江のまちづくりをどのように推進していくのか、また、行財政改革への取り組みの基本的な姿勢は。
- ・市長定例記者会見のあり方の工夫として、どのようなことが考えられているか。
- ・市民協働事業提案制度の新たな運用、運営団体や市民公益活動団体との連携促進についてどのように進めるのか。
- ・次世代育成支援計画10年の取り組みの中で、子供の権利施策の何が施策化され、どこまでどのように実施されたのか。

平成26年度 会計別予算

	平成26年度	平成25年度	増減	
			金額	率(%)
一般会計	25,372,000	25,725,000	△ 353,000	△ 1.4
特別会計	16,729,467	16,437,378	292,089	1.8
国民健康保険	8,159,891	7,997,977	161,914	2.0
後期高齢者医療	1,734,424	1,623,403	111,021	6.8
介護保険	5,184,811	4,947,644	237,167	4.8
公共下水道	1,586,081	1,804,232	△ 218,151	△ 12.1
駐車場事業	64,260	64,122	138	0.2
総額	42,101,467	42,162,378	△ 60,911	△ 0.1

〔歳入〕

- ・男女共同参画施策推進について、計画重点施策は何か、委

〔歳出〕

- ・健康こまえ21の改定を含めた26年度の健康づくり推進協議



〔教育費〕

- ・学校と家庭の連携支援員について、支援員の役割と各学校の配置状況。
- ・熱中症対策としてミストシャワーの26年度の設置予定は。
- ・26年度から2学期制から3学期制に移行となるが、なぜ移行になるのか。
- ・アレギー関係講習会の内容、25年度の受講人数、26年度の講習回数は。

〔民生費〕

- ・国生活困窮者自立支援モデルに市が取り組む理由。
- ・高齢者配食サービス、敬老金の支給状況。
- ・保育所等児童運営費の一時預かり業務委託について。
- ・使用済小型家電リサイクルに取組むようになった背景、25年度実績、26年度の事業展開は。

〔商工費〕

- ・消費生活相談員について、その相談内容と効果は。
- ・（土木費）
- ・自転車整理関係費について、駅周辺の見回り業務を今後はどのように進めていくか。

〔消防費〕

- ・避難所運営連絡協議会の設置状況、協議会の増加要因、今後の連絡協議会の設置、防災会との連携について。

平成26年度 一般会計予算 歳入・歳出予算総額 253億7200万円

